

第四十四回フオト旬会優秀作品(26年10月13日)

自由題



爺さんの 皺を刻んだ

畑づくり 清水 勝

寸評：島原半島にこんな綺麗な段々畑があるのですね。撮影のアングルもいいし、「皺を刻んだ」の措辞が適切で、段々畑を造ったご苦労が偲べれます。



夢の青 師弟のきずな

ノーベル賞 矢澤 正二

寸評：六本木あたりで夜遊びをしているとこんな風景に出合います。この風景を青いLED発明のノーベル賞受賞に結びつけたセンスを買いましょう。



蚊一匹 茶会の小舟

揺らしおり 池田 隆

寸 評：蚊が一匹飛んできたので小舟が揺れたと言うのである。デング熱のような無粋な連想しかできない諸君にはこの心境は理解できないかも。

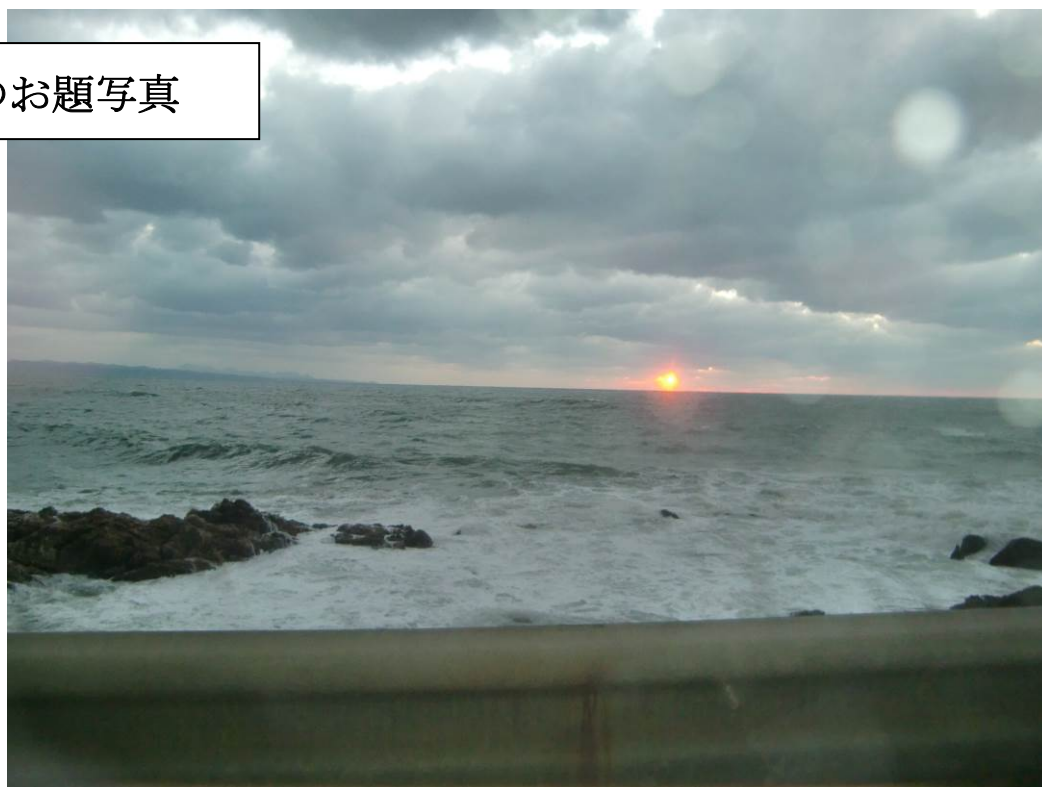


小躍りして 採った全てが

毒きのこ 中村 晃也

寸 評：素人の茸狩りは危険。女の園に入り込み手当たり次第にと喜び、気が付いたら周りは全て毒婦だったという哀しい現実を思い出します。

今月のお題写真



付け句

今月は森田さんの出題です。故郷の出雲の浜の日没を撮ったものだそうです。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1) 朝ぼらけカメラまでもが二日酔い | 池田 隆 |
| 2) 印象派？それとも銭湯のペンキ絵か？ | 大月 和彦 |
| 3) 撮影者だけが感動空と海 | 中村 晃也 |
| 参考作品 1 旅終わり夕日が落ちて家思う | 下山 健夫 |
| 参考作品 2 我が家にも雲渦巻いて鬼が待つ | 下山 健夫 |

寸評：

- 1) 日の出と勘違い。焦点ボケをカメラの二日酔いと捉えた善意を買いたい。
- 2) 美術愛好家のコメント。銭湯の絵には富士山がある筈だが？
- 3) なんとも褒めようがない風景ではないですか？

参考作品 1 & 2 相当苦吟の上の作品とお見受けしますが、夫々の句の一字を変える
とこんな句になります。

- 1 旅終わり夕日が落ちて妻思う
- 2 我が家にも雲渦巻いて妻が待つ

「妻」を適宜コキ使うのがコツです。

以上